



デミング賞委員会委員による TQM 診断応募時の TQM 実施状況レポートの提出について

(2023 年度はトライアル実施。2024 年度から適用)

デミング賞審査委員会

「デミング賞委員会委員によるTQM診断」（以下、診断という）は、組織に対して一層効果的なTQMの推進に資することを目的に行います。診断を希望する組織は、下記の3つの目的の中から1つを選び、所定の申込書によって、応募いただきます。

- TQMの導入または推進期において診断・助言を受ける。
- デミング賞等を受審する方向で診断・助言を受ける。
- デミング賞ならびにデミング賞大賞受賞3年後のフォローアップのための調査にかえて診断・助言を受ける。

また、効果的な診断を行うために、「診断申込み組織の概要が分かる資料」や「TQM実施状況が分かる資料」を診断日の2カ月前までに提出していただきます。しかし、昨今の診断応募組織のTQM推進レベルは、さまざまであり、デミング賞審査委員会として、診断応募時に、組織のTQMレベルをある程度把握しておきたいということになりました。そのため下記のように、「TQM実施状況レポート」の提出を診断応募時にお願いします。2023年度は、トライアル実施ですが、是非、診断応募組織にはご協力を賜りたいと考えています。2024年度からのTQM診断応募の際には、必須事項とすることを予定していますのでご承知おきください。

本件については、場合によっては、このレポートを用いて診断を応募年次に実施するかどうかの判断を行うことがございます。

また、本件のレポートとは関係ありませんが、診断・審査の応募時に組織から希望日程をお出しいただきますが、狭い範囲での絞られた日程候補が提出された場合、委員の都合がつかず実施できないこともあります。そのため、希望日程については、多くの選択肢がある形で余裕を持ってご提示くださるようご配慮をお願いいたします。

■ TQM実施状況レポートの内容

- レポートの内容は、実情説明書の全社編をコンパクトに記述したものに、部門をいくつか選択して記載してください。
 - 応募組織の概要：組織の概要（業績なども含む）を簡潔に説明し、特に診断の対象となるスコープを明確にしてください。
 - 経営目標と経営戦略：「経営理念、業種、業態、規模および経営環境」を記述し、これらに応じた「積極的な顧客指向の経営目標・戦略」について簡潔に記述してください。

- TQMの導入と推進：組織で実践されているTQMの特徴的活動を2～3ご紹介ください。
- 総合効果：経営目標・戦略について効果をあげるとともに、将来の発展に必要な組織能力が獲得できているかどうか。残された問題・課題や新たに実施したい事項などについて記述してください。

※今年度は、まだトライアルですので、貴組織の実情を忌憚なく簡潔に記述してください。

②A4判・10ページ程度で、電子ファイル（WordとPDFファイルの両方を提出）で事務局へ提出。

③提出期限：2023年2月20日（月）※2023年はトライアルですので、提出が遅れた場合、3月3日（金）まで受付いたします。

以上、「デミング賞委員会委員によるTQM診断」を応募される組織におかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。